



渡辺 甚一 議員

消防団に対する 支援について

問 県消防操法大会へ出場する際にホースが支給されるが、市大会出場隊にも支給できないか。

答 消防団からの要望もあるため検討する。

問 道路交通法改正に伴い、免許の種類が変更されたが、団員の免許取得の状況は把握しているか。

答 調査を始める。

問 オートマチック限定免許が増えているが限定解除等の支援ができないか。また、オートマチック消防車両導入等の考えはあるか。

答 免許取得の支援は考えていない。車両導入では、更新時にオートマチック車を導入したい。**問** 平成31年の県消防操法大会が高山市で開催されるが、会場は決ま

っているのか。市大会も県消防操法大会と同じ会場できないか。

答 候補地については、消防団から意見を聞きながら、県と協議を進めている。市大会は、県消防操法大会と同一の会場で実施できるよう努力する。

問 県消防操法大会に向けて、のぼり旗の新調や分団長まで盛夏服の必要性があるのではないか。

答 のぼり旗については、約40年経過しており、県下の消防団と比べてサイズが小さいことも認識している。平成31年開催に向け検討する。盛夏服については、消防団と協議する。



今井 武男 議員

高山市における 農業振興の考えは

米・食味分析鑑定コンクール国際大会

問 平成29年11月に山形県で開催された第19回米・食味コンクール国際大会をどう評価しているか。

答 JAひだ及び3市1村が連携して取り組んだ。過去最高の金賞7点を受賞し、全国農業高校お米甲子園においては飛驒高山高校が金賞を受賞した。飛驒の米のおいしさが際立つ大会であった。

問 平成30年に第20回同大会が本市で開催されるが、内容と期待するものは。

答 一番は飛驒の米を国内外にアピールし、品質の高いブランド化の推進に結び付けたい。飛驒の米の美味しさを

知っていたら、絶好の機会ととらえている。

所有者不明の私有地

問 私有地の所有者不明について、市はどのように考えているか。

答 地籍調査等に様々な支障があり、国のガイドラインを活用して対応している。国においても議論されており、その動向にも注視している。

高病原性インフルエンザへの対策

問 高病原性インフルエンザの発生事例があったが、市の現状と対策は。

答 市では発生していないが、消毒の徹底や野生動物の進入対策等、県とともに指導している。



谷村 昭次 議員

市民意見への考慮と 反映における 見える化を

「パブリックコメント」意見の考慮や反映について

問 市民生活や事業活動に直接かつ重大な影響を及ぼす制度の導入や基本方針を定める条例制定では、市は素案を公表し市民からの意見募集をしているが、これまでは意見への検討結果と理由の説明ができてきた。しかし、その意見をどう考慮し反映したのか、意見結果が公表される場面で不十分である。市民意見を考慮し反映する対応と素案修正への取り組みを含め、見直しを検討するべきでは。また、他の自治体を例に少数意見者への対応が誰もが見える状態に整えるべきでは。

答 市民参加条例の市の責務として、市民の意向の確かな把握と政策等の形成に反映することに努めた。今後は意見募集の結果対応を公表する上でさらに改善を図りたい。

山岳観光施策での魅力度を向上させる事業への対応は

問 魅力度を向上させる事業での施設整備とガイド育成などハード面・ソフト面において街なみ観光と異なり、立地面からも事業実施の困難さが想定される。現場第一の再認識を強化する今後の取り組みは。

答 国、県や関係団体等との連携の充実と共に、市関係部局との事務強化に努める。